

Ikakeya linux ユーザーガイド

- はじめに

ikakeya linux は Vine Linux をベースにした livecd です

2009年3月現在、ikakeya linux は β版でありその動作の安全・安定性を保証する事はありません

使用に関しては、自己責任で行って下さい

ikakeya 制作委員会並びに収録されている各ソフトの開発者は ikakeya linux の使用に関して生じるいかなる結果にも全く責任を負うことはありません

この livecd の制作及び使用目的はデータのクラッシュ等で起動しなくなった Windows タイプのパソコンからデータのレスキュー及び当該パソコンの復旧にあります

Windows タイプのパソコンであってもハード面でのクラッシュについての使用には全く適してはおりませんし、Macintosh タイプのパソコンの使用は不可能だと思われ

また Windows タイプのパソコンであっても一部のパソコンで使用できない場合がありますので以下に示しておきます

- Linux がサポートしていないハード機器を使用しているパソコン

(最新のマザーボードを使用しているパソコン等)

- 旧式の Windows タイプのパソコンであってもベースである Vine Linux でサポートされていない特殊なハード機器を使用しているパソコン
- CD / DVD ドライブが内臓されていないパソコン (usb 接続のからの

CD / DVD ドライブ boot が現在未検証な為)

また、ikakeya linux が正常に起動した場合でも X window (グラフィカルユーザインタフェース)だけが使えないパソコンがあることが報告されていますが、これに関しては後に記します

ikakeya linux の使い方

ダウンロードしてきた ikakeya linux を CD-ROM に焼く事から始めます

ダウンロードした ikakeya linux は iso ファイルという拡張子のファイルですのでそのまま CD-ROM に焼き込んでしまうと大変な事になります

iso ファイルを取り扱えるソフトが手元にある人はそれを使えば簡単に焼けますが、それらが無い場合は iso ファイルを焼くソフトを入手する事から始めなくてはなりません

無料のソフトでは DeepBurner Free や infraRecorder 等が有名ですが google 等で検索して自分の使いやすいものを入手してください

それらのソフトで iso ファイルを焼いて ikakeya linux が出来たらよいよ使い方は

まずは、起動させたいパソコンの BIOS の設定が CD / DVD-ROM の boot が最初になっているか確認します

BIOS の設定を確かめるには電源を入れる際に【ある操作】をする事になりますが、これはマザーボードの制作する会社、マザーボードの制作した年代等で操作方法が違います

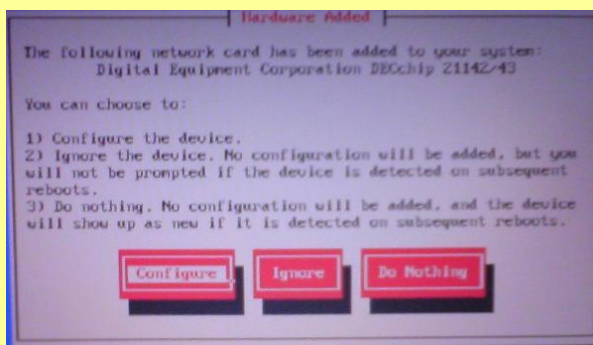
電源ボタンを入れるまでは同じですが大きく分けて2つの違いがあります

- Delete キー を押す場合
- F12 キーを押す場合

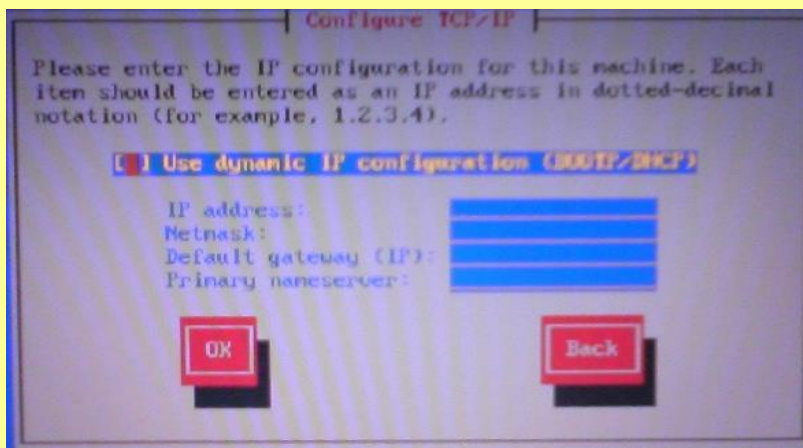
この他にも【そのマザーボード専用の BIOS の設定の呼び出し方】がある場合がありますので上記の方法で BIOS の呼び出し・設定が出来なければそのパソコンの取扱説明書かインターネット等で調べて下さい

表示が英語ですが、ネット接続を使用するに選択されていますのでそのまま Enter キーを押すと以下のネット接続の設定になります

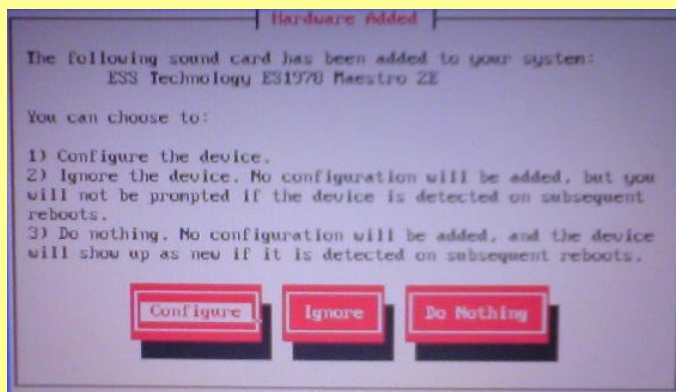
この時、方向キーで【設定】、【設定しない】、【無視する】の選択が出来ますので、【設定しない】にするとネットを使わない状態で次の設定画面がスキップされます



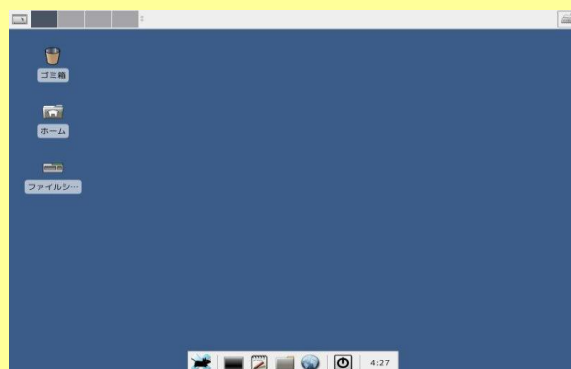
通常はこのままスペースキーを押してから Enter キーを押しますが、固定 IP アドレスを各自で設定したい方は IP アドレスを入力してから Enter キーを押して下さい



次に ikakeya linux が認識出来た usb 接続の設定が何回か表示されますので使用するならばそのまま Enter キーを押してください



設定が終了すると、最終的には自動で X window が起動してログインできます

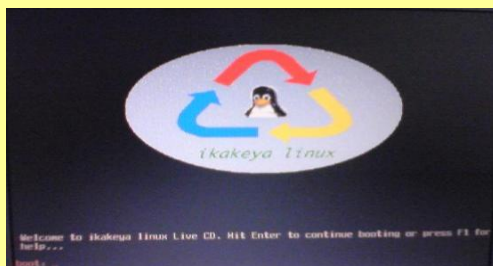


X window (グラフィカルユーザインタフェース)だけが使えないパソコンの場合

もしも、X window が起動出来ない場合は boot 時からの設定の変更で X window を起動させる事が出来る可能性があります

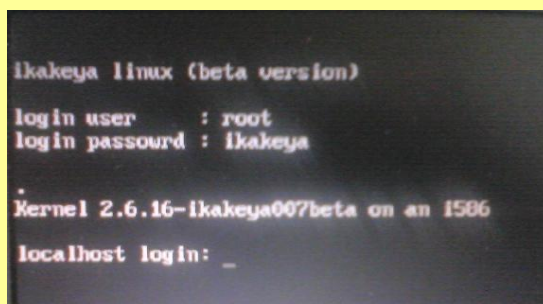
ただし、これにはある程度の知識が必要です

boot 時に表示される画面で boot : の部分に text と入力して Enter キーを押して



下さい

するとそのまま同じように起動しますが最後の画面で以下の文章が左上に表示されたままで止まります



この時、表示された **login user :** に **root** と **login password :** に **ikakeya** をそれぞれ入力すればテキストベースでのログインが出来ます

ログインが完了すればそのままコマンドラインから **setup** と入力して X window の設定が出来るようになりますのでパソコンに適合した X window を随時選択してください



もし、**X window** の設定を行っても **X window** が起動出来ない場合は **ikakeya linux** のサポートされていないグラフィックボードである可能性があります

その場合テキストベースのみでの使用になります

その場合、コマンドラインによる操作だけになりますので **linux** に関する専門的なスキルが必要になります

主な収録ソフト

- **Seamonkey (web ブラウザ)**

元々、**Mozilla Application Suite** として開発されていたインターネット統合アプリケーションの後継ソフト

現在は **Mozilla Foundation** 直接の開発では無いが、**mozilla Application Suite** の愛好者には人気がある

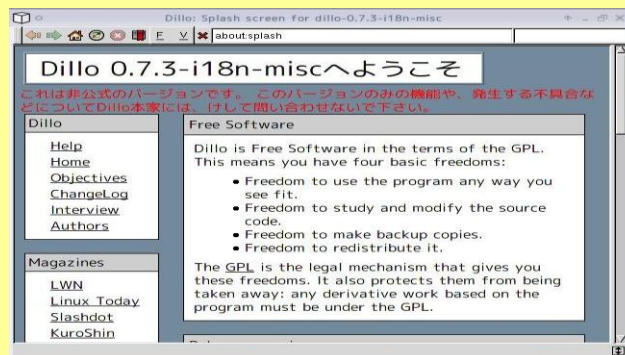


私的な見解ではあるが、消費メモリが **firefox** より少なく起動が早い
webmin や **samba-swat** も収録してあるので設定をここからおこなえます

- **dillo (web ブラウザ)**

軽い事で優れた web ブラウザ

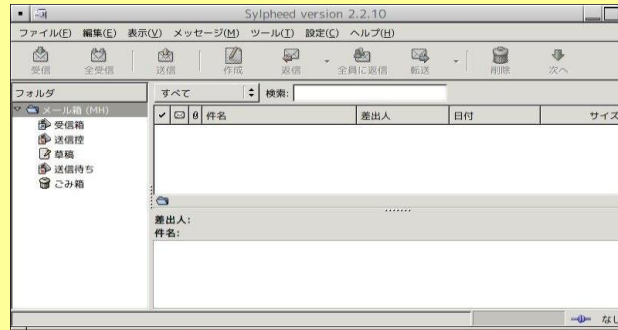
欠点と言えば一部のサイトでは表示画面が崩れてしまう事



- sylpheed (mail ソフト)

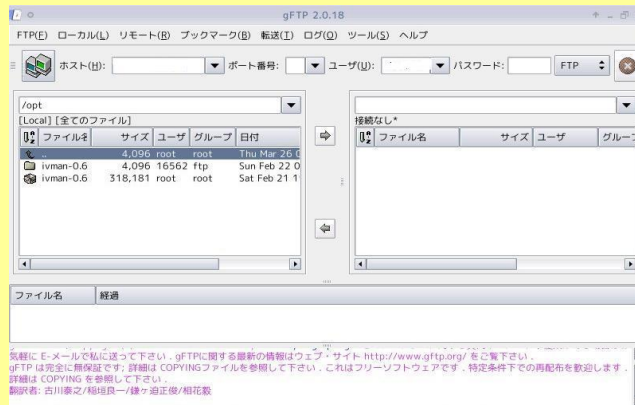
日本人が開発者の為、文字化けが少ない (とされる)

vinelinux のデフォルトの mail ソフト

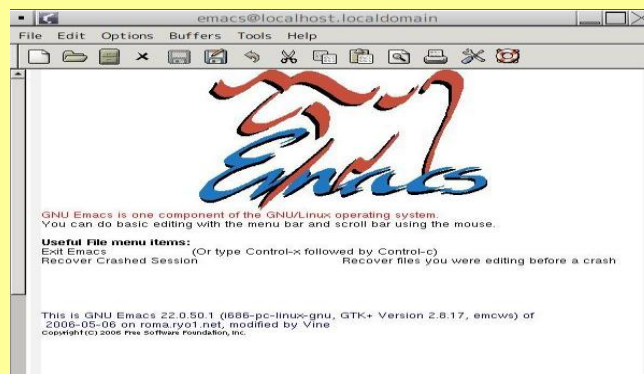


- gftp (ftp ツール)

レスキューしたいファイルを自分の ftp サイト等にアップロード出来るソフト



- emacs (高性能なテキストエディタ)



- **testdisk (ファイルレスキューソフト)**

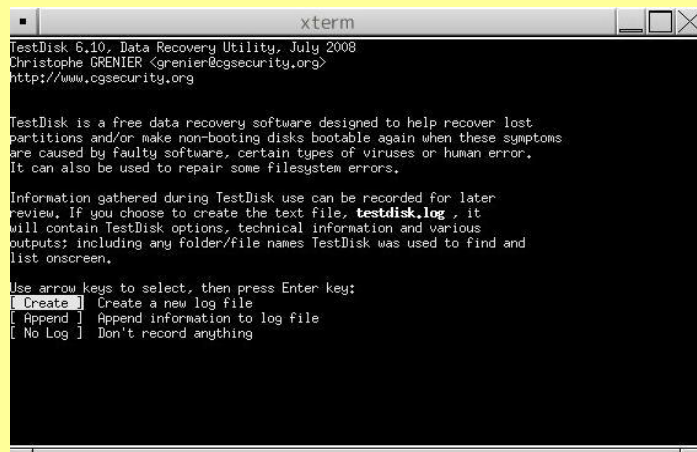
誤って削除したファイルを復活される事が出来るソフト

ごみ箱が空になっていても **testdisk** を使えばファイルの復活が可能、ただし、上書き等の場合は難しいらしい

実際に使用した経験では **Windows** でドライブ全体に通常のフォーマットを一度した位ならば復活率は8割位であるがファイルの種類によって復活率はかなり異なった

端末から起動させる為、端末そのものの大きさが小さいとエラー表示が出る

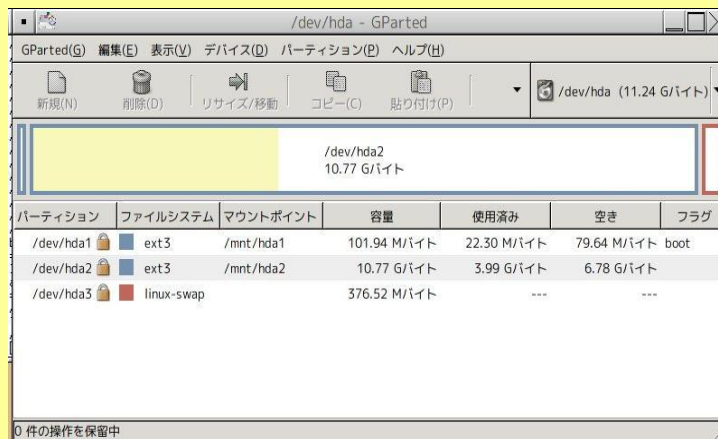
ちなみに **Windows** 用の **testdisk** も公開されている



- **gparted (パーティションの作成・編集ソフトウェア)**

パーティション変更ツール (レスキューソフトでは無いが一応収録)

バージョンが低い為、最低限度のファイルシステムしか取り扱えませんのであしからず



- **xfce (デスクトップ 環境)**

メモリ消費が少ない総合デスクトップ環境

日本語化もかなりしっかりされている為に初心者にも使いやすい



- **xcdroast (CD/DVD 作成ツール)**

サルベージしたいファイルを CD/DVD 等に直接焼き込む事が出来るソフト

ただし、パソコンのメモリが少ないと作業領域を確保出来ない、設定が面倒臭い、書き込み速度が速すぎると失敗する可能性がある等の報告例がある



- **xpdf (pdf 閲覧ツール)**



- **ntfs-3g (ntfs ファイルシステム書き込みソフト)**

コマンドラインによる **ntfs** ファイル領域への書き込みソフト

ikakeya linux ではデフォルトの起動では **ntfs** 領域へは読み込みだけができるようになっていますのでこれを使えば書き込みができるようになる

ただし、大人の事情により**使用にはくれぐれも自己責任**でお願いします

この他にも収録ソフトはありますので端末からコマンドラインで

rpm -qa

で確認してください

参考 ikakeya linux を使った最も簡単なデータのサルベージ方法

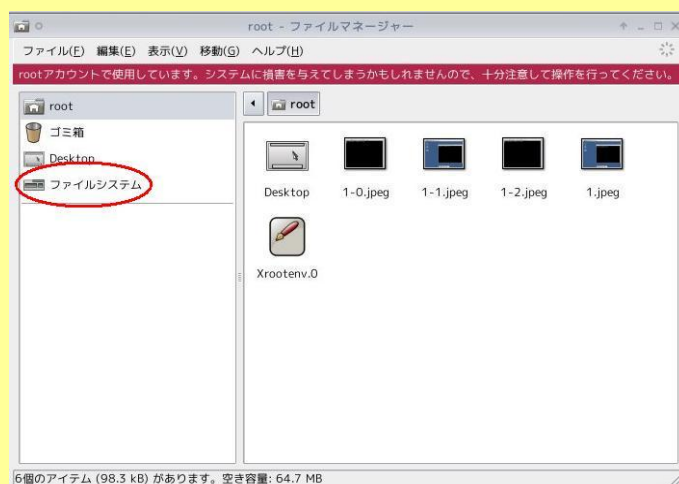
外部 usb 接続やネット接続が出来る状態で起動が完了すれば、パソコン内のハードディスクは読み込みだけが出来ています

以下に示す内容は全てのパソコンの状況下で保障されるものではありません
あくまでも目安としてお読み下さい

デスクトップ上にあるホームと書かれたフォルダをクリックします



するとファイルマネージャーが起動しますので左横にあるファイルシステムをクリックします



すると、色々なフォルダが表示されますがその中の、**mnt** というフォルダをクリックします



そこには **hda1** とか **hda2** という名称のフォルダがあります



通常ならば Windows のパソコンの Cドライブは hda1 という名称になりますのでここでは hda1 のフォルダをクリックします (メーカーによっては **hda2** や **hda3** の場合もあります)

中には、**Documents and Settings** というフォルダがありますのでこれをクリックします



その中には自分がいつも使っているユーザー名のフォルダがあると思います



ここで、デスクトップの下に表示されているコマンドプロンプトのアイコンをクリックして端末を起動させます



外部接続の **usb** メモリ・外付けハードディスク等をパソコンの接続端子に差し込みます

立ち上がった端末に以下の様に入力します

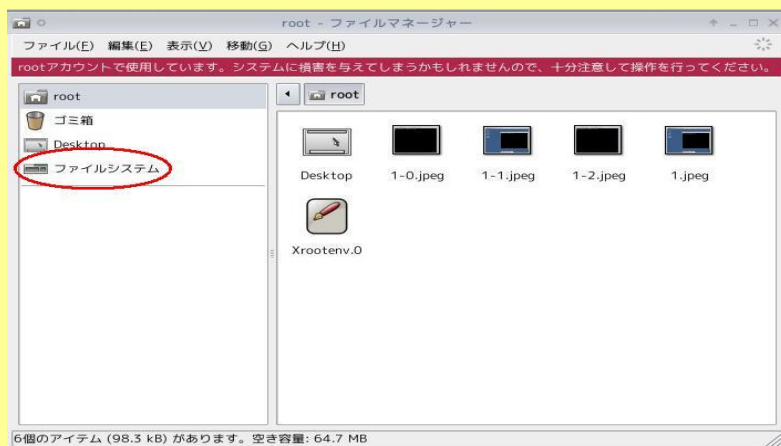
cd /misc/usb *Enter* キーを押す

すると、自動的に **usb** メモリ・外付けハードディスク等が使えるようになります (ただし、それらのファイルシステムが **vfat** であり、他の **usb** 機器を使用していない事)

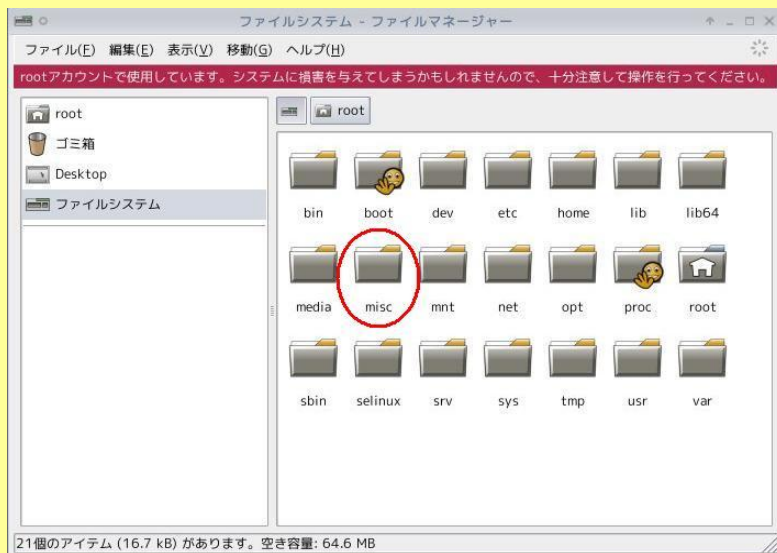
次に、またホームと書かれたフォルダをクリックします



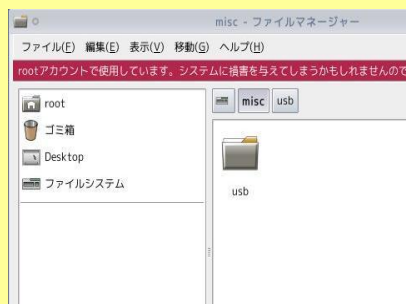
さっきと同じようにファイルマネージャーが起動しますので左横にあるファイルシステムをまたクリックします



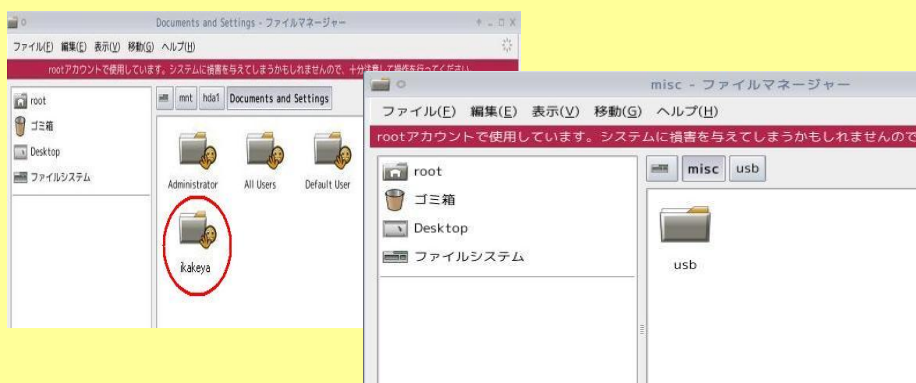
フォルダが表示されますがその中の、**misc** というフォルダをクリックします



そこに **usb** というフォルダがある事を確認して下さい



さっきの **Documents and Settings** の中の普段使っているフォルダをマウスでドラッグして **usb** フォルダ内にコピーします (マイフォルダの中に著作権によりコピーガードされた映像・サウンドファイル等があるとコピー出来ないと表示がされますのでご注意ください この場合コピーは不可能だと思われま)



・・・当たり前の話ですが、**使用している usb メモリ・外付けハードディスク等の空き容量を超えるファイルはコピー出来ません**ので悪しからず

コピーしていますと表示が出ますのでそれが終わったらマイフォルダが **usb メモリ・外付けハードディスク内に完全にコピー出来たのを確かめてから**、さっきの端末にさらに

cd /root/ *Enter* キーを押す

exit *Enter* キーを押す

と入力して端末を終了させてください

次に、ファイルマネジャーを2つとも終了して下さい

次にログアウトボタンを押して電源を切るを選択し、**ikakeya linux** を終了させます



ikakeya linux の電源が完全に切れたら **usb メモリ・外付けハードディスク内等の外部接続をはずします**

これで、データのサルベージは完了です